

自然保育推進事業 活動報告書

1. 団体名

学校法人奥山学園 幼保連携型認定こども園 桜ヶ丘幼稚園

2. 令和4年度活動概要

(1) 環境構成に関すること

今年度は、4月に自然保育リーダーを立てて、リーダーを中心に自然保育に取り組んで参りました。自然保育認証を得たばかりで、とにかく「やってみよう！」の意識のもと取り組みましたので、反省点も多々ある1年とはなりましたが、昨年度より保育者1人1人が、自然保育活動に意識して取り組んだ実りある1年となりました。

具体的な環境構成としましては、子ども達が遊具だけではなく、畑の土に触れる、山に登る事をもっと身近に感じられるように、「園庭裏の山の整備」「畑の拡張」を行いました。

園庭裏の山の整備は、グラウンドから、山に入れるような階段を作り、山を一周して、園に戻って来られる山道を作りました。子どもの足で、30分程で歩ける道で、急な斜面もない為、満3歳児から年長児まで、登ることが出来ました。0.1歳児クラスも、最後まではたどり着けなくても、保育者と手を繋いで、途中まで登る経験をする事が出来ました。普段の整備された道とは違い、バランスを取りながら歩く事に楽しさを感じ、葉っぱや木の枝を拾いながら歩く姿が見られました。

来年度の目標としては、園から桜ヶ丘団地に出てくる山道が通りにくくなっている為、環境整備を行い、道を選ぶようにしていきたいと考えています。また、山の奥を開拓していないので、年長児から少しずつ登っていき、通れる道を徐々に拡張していきたいと考えております。

畑の拡張については、今までの畑の土が土壌が芳しく無いため、農家の方に来て頂き、土壌改良及び、面積拡張を行ないました。これにより、サツマイモだけに留まらず、多くの農作物を子ども達と一緒に育てたいと考えております。

(2) 活動例

【1学期】

・休日参観日

「保護者を巻き込んだ自然保育」をテーマに掲げ、休日参観日を行なった。保育内容は、学年ごとに決め、年長児は木工、年中児は泥団子作り、年少児は園内自然見つけをした。当日は、自然保育体験アドバイザーの大村先生にお越し頂き、活動のアドバイスも頂いた。

・夏野菜 夏の花

年長児、年中児で夏野菜を育てた。年長児はトマト、年中児はきゅうり、なす、オクラ、ズッキーニを育てた。夏野菜の苗を畑に植えて育てた。収穫は、育てた学年以外も参加し、年少児、満3歳児も体験することができた。

花は、年長児はひまわり、年中児は朝顔の種植え体験をした。花が咲いた後は、種を取り、家に持って帰ることができた。「来年お家で植えてみようかな」と幼稚園で学んだことを、家庭で実践してみようとする姿が見られた。



・泥んこ遊び

水路を作って水を流したり、泥団子を作ったりして、泥の感触遊びをした。



【2学期】

・冬野菜

夏野菜を育てた経験を生かして、冬野菜はどんなものがあるのか、年長児と年中児で調べて、子どもたちが育ててみたい野菜を決めた。年長児が年中児に、ひらがなを教えてあげたり、自分の経験を生かして、「この図鑑が分かりやすいよ」と教える姿が見られ、異年齢での関わりを持つこともできた。



・柿もぎ体験

園内にある柿の木に毎年秋になると、沢山の柿が実るので、柿取り体験をしている。低い所は、小さい子が取り、年長児は保育者と脚立に登り、高い場所の柿を自分で収穫する体験をする。今年は、給食の先生に依頼し、収穫した柿を給食で出してもらった。「これは僕が取ったやつかな？」と楽しみながら食べる事ができた。



・さつまいも収穫

春に植えたさつまいも苗が成長し、11月に収穫をした。収穫したさつまいもを、年長児が桶の中に入れて洗い、翌日に全学年で「焼き芋パーティー」をして食べた。自分達が収穫したさつまいもを食べることを楽しみにし、普段の給食では、苦手で食べられない子も、自分で作った焼き芋は、美味しそうに頬張って食べていた。野菜の成長を学び、それを調理して食べることで、食育にも繋がった。また、芋のツルを使って、綱引きや縄跳びをして遊んだり、年長児は円に縛って乾燥させ、クリスマスリースを製作した。





・落ち葉遊び／虫探し

落ち葉を囲いの中に集めて、プールに見立てて遊んだり、年少児は、ハリネズミのハリに見立てて作品を作り、年中児は、大王松の松ぼっくりをツリーに見立てて、クリスマスツリーを作った。

また、今年度の年中児の作品展では、自然をテーマに作品作りをし、図鑑を作ったり、虫の模型を作ったりして、自然についての知識を深めた。



・チューリップ

年中児、年少児でチューリップを植えた。年中児に植え方を伝えると、年中児が年少児に植え方を教えてあげている姿が見られた。「赤い花が咲いて欲しいな」と、花が咲くのを楽しみにしていた。



【3学期】

・雪遊び

雪が降った日に、園庭に出て雪遊びをした。「冷たいね!」「水が氷になっているよ」と、自然の事象に触れながら、冬ならではの遊びを楽しんだ。



・山登り

縦割り保育をし、山登りをした。年長児が年下の子を気遣いながら、声かけをしたり、手を繋いであげたりし、異年齢での関わりが見られた。また、「登り坂の時は手を使いながら登ったらいいね」「下り坂の時はお尻を付けながら降りたらいいよ」など、子ども達なりの山登りの仕方を見出して、実践している姿が見られた。



・巣箱設置

職員が作った巣箱に、子ども達で色やイラストを付けて、クラスで話し合った場所に巣箱を設置した。「かわいいお家にしたい」「高いところに付けよう」と色々な意見が出て、オリジナルの巣箱を完成させることができた。



・さくらマップ作り

3月で卒園する年長児に、桜ヶ丘幼稚園のおすすめしたい場所や、好きな場所を盛り込んだ、園内マップを作成した。



(3) 自然体験活動の実施にあたり工夫した点

4月、アドバイザーの大村先生にお越し頂き、休日参観日の活動内容の改善点や、今後の活動について教えて頂くことが出来た。

また、誰が育てたものかが分かるように、プランターに名前を立てた。子ども達は、自分の育てているものが分ると愛着を感じ、より意欲的に育てる姿が見られた。「○○ちゃんの大きくなったね」「私のはまだかな」と、友達が育てているものにも目を向けることが出来た。今後も植物や野菜を育てる時は、名前を付けて分かるようにしていきたい。

反省点としては、活動が多い時期と、活動が少ない時期との差があった点である。来年度は、1年間を通して活動をするように年間計画をしっかりと立てて、実践していきたい。

来年度は、リーダーを2人に増員し、活動範囲を広げていく。また、雨の日の自然保育の内容なども話し合っていきたい。